

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2018 年 7月 9日

東京大学での所属学部・研究科等:	工学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	シンガポール国立大学(NUS)
卒業・修了後の就職(希望)先:			
<input checked="" type="checkbox"/>	1. 研究職	<input type="checkbox"/>	2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
<input type="checkbox"/>	3. 公務員	<input type="checkbox"/>	4. 非営利団体
<input type="checkbox"/>	5. 民間企業(業界: 建築)	<input type="checkbox"/>	6. 起業
<input type="checkbox"/>	7. その他()		

派遣先大学の概要

シンガポール国内唯一の国立総合大学。在籍学生数は30000人以上と大規模な教育機関であり、THEやQSの世界大学ランキングでも東大を抑えアジア1位を維持しており、研究・教育水準共に世界トップレベルを誇る。

留学した動機

進学を考える中で、大学院というステージにおいて、熱意を持って学問に向き合い、成果を生むためには、自らが学ぶ事象への確固たる軸の形成が不可欠であると考えた。そのためには、学部生の時期に、将来のビジョンや興味分野における自分の考えを徹底的に叩き上げる機会が必要であり、「環境の違い」と「専門分野でのハイレベルな研究環境」を併せもつNUSでこの徹底的内省を行おうと思ったため。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2017年	学部3	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2017年	8月~	2018年	5月	
	学部4	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2018年	学部3	年生の	S2	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	年		年生の		月頃に
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			20	単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			2	単位
	留学後の取得(予定)単位			22	単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2015年	4月入学	2020年	3月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5年		ヶ月間		
⑨留学時期を決めた理由:					

理系であるため、卒業研究に向けた研究室配属時期を考慮すると、3年の夏出発以外に候補がなかった。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

現地大学からのメールは頻繁に確認して見落とさないように。また、NUSはHIVと結核について陰性である検査結果の英語での診断書を持ち込むことが必須であるため、時期に余裕を持ってトラベルクリニックで検査を行うことを勧める。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

ビザは学生ビザであった。事前の申請は不要であり、シンガポール到着直後は観光ビザで入国し、観光ビザの期間中(1ヶ月間)に大学の指示に従い、大学の事務を通して学生ビザを申請した。出国から約3週間後に正式なビザを手に入れた。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

上述の通り、HIVと結核の検査が必須。また、周辺のアジア諸国に旅行に行くこともあるので、それに備えて狂犬病、破傷風、A・B型肝炎の予防接種を受けることを推奨する。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

東京大学から案内を受ける、付帯海学という保険が包括的であったため、それにのみ加入した。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

留学計画書を学科の事務室に提出した。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

出発前時点ではリスニング、リーディングに関しては準ネイティブレベル(IELTS: 8程度)、ライティング、会話については無対策(IELTS: 6程度)。現地での学習においても人付き合いにおいても、リスニング力が最も重要であり、かつ最も足りていないところであると痛感した。受験単語帳の例文CD、TEDなど、1人である時も常に英語を聴くようにしていた。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

Kindleを持参すると読書が捗る。留学期間中は週1冊ペースで本を読んだ。和書も洋書もスペースを取らずにいつでも読めて良い。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Fluid Mechanics	4		Music and Computing	2	
Environmental Processes	4		Radiation-Scientific Understanding	4	
Clean Energy and Storage	4		Geopolitics: Geographies of War & Peace	4	
Natural Resources	4				
Innovation and Enterprise	4	●			

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)
前半の学期は4つの授業を履修していた。座学+演習がセットになっている授業スタイルであり、適切に課題と復習に従事した。後半の学期は4つの授業を履修登録したが、そのうちの3つを聴講に切り替え、可処分時間のほとんどを興味分野への研究・学習へと充てた。同じ東京大学で研究院としてNUSに所属している先輩のいる研究室に入り浸っていた。
③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など
一学期あたり4つの授業を履修するのが、留学生として一般的であった。各授業、週2時間ほどの座学に加え、10時間ほどの授業時間外の学習時間が必要となり、平均して1日5時間程度はコースワークの処理に時間を使うことになる。
④学習・研究面でのアドバイス
留学生は全体の1割もいないので、それだけでTAや先生が親切に対応してくれる。先生に自分の存在を認識してもらい、気にかけて貰うことがとても大切であると思う。
⑤語学面での苦勞・アドバイス等
プライベートで、英会話の練習ができるようなネイティブの友達を作れると劇的に会話力が向上する。
生活について
①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)
大学の寮に住んでいた。家賃は朝晩の食事付きで6万円程度であった。受け入れ採択後に、大学から案内が来るのでそれに従って手続きをした。
②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)
気候は常夏で、ほぼ毎日夕方にスコールが降る。しかし、湿度はそれほど高くなく、また雨に濡れないようにそこら中に庇があったため比較的快適に過ごせた。中心部から電車で45分ほどの所に大学があり、中心部へ移動する場合は、主に、日本のタクシーの1/3程の価格帯であるUberを使っていた。ローカルフードを食べると辛くてお腹を壊すことがあるので注意。海外送金については、クレジットカードの海外キャッシングに依存した。
③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)
加入していた保険のカバー範囲で、指定の医院では医療費が無料なので、積極的に受診するようにした。風邪、不眠症、ピアスの炎症による耳の手術などに関する受診が全て無料で済んだ。
④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)
・毎月の生活費とその内訳
毎月の生活費は約1200ドル(約10万円)。内訳は、家賃+朝晩食費: 650ドル, 昼食+交際費: 300ドル, 交通費: 150ドル, その他: 100ドル。
・留学に要した費用総額とその内訳
総額約12000ドル(約100万円)。内訳は上述の毎月の生活費9ヶ月分: 10800ドル, インドや中国への旅行への諸費用: 1200ドル。

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

JASSOの海外留学奨学金(月額10万円×10ヶ月)を受給していた。採択後に東京大学から案内がきた。

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

高校生の頃からDJを続けていたこともあり、DJができる現地大学のサークルに所属し、週末はよく、中心地にあるクラブに遊びにいき、音楽イベントを楽しんだり、自分もDJとしてパフォーマンスをしたりしていた。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

利用したことがないため、詳細はわからないが、包括的なサポート体制は存在している。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

テスト前2週間は24時間開館している図書館がある。また、学生が居住する区画がUniversity Townとして開発されており、ジム・プール・フードコート・スーパー・24時間営業のSTARBUCKS COFFEEが併設されている。PCブースも学内に多数ある。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

就職活動を未だ行っていない。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

就職活動を行う予定はない。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

留学中に就職活動をしていない。

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

	1. 研究職
	2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:)
	3. 公的機関(機関名:)
	4. 非営利団体(団体名又は分野:)
	5. 民間企業(企業名又は業界:)
	6. 起業(分野:)
	7. その他()

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

多くの学生は、目の前にある全てのことにおいて、優秀な結果を残そうと頑張ってしまう。NUSへの留学は、この忙しい競争と努力の喧騒から自分を分離してくれたと思う。それまでは、その瞬間瞬間において誰かの評価の上で少しでも見栄を張りたいたって生きてきた節があったが、留学の途中で、人生を以って自分が何を成すべきかを真剣に考えた結果、取り組むべきことの軸が見つかり、現在は興味分野の学習と研究に一極集中して取り組んでいる。

②留学後の予定

アメリカの大学院博士課程への進学を考えている。そのために、国際的な場での研究発表の実績を、卒業までに多く作って行く予定。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

1年は長く短し。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。